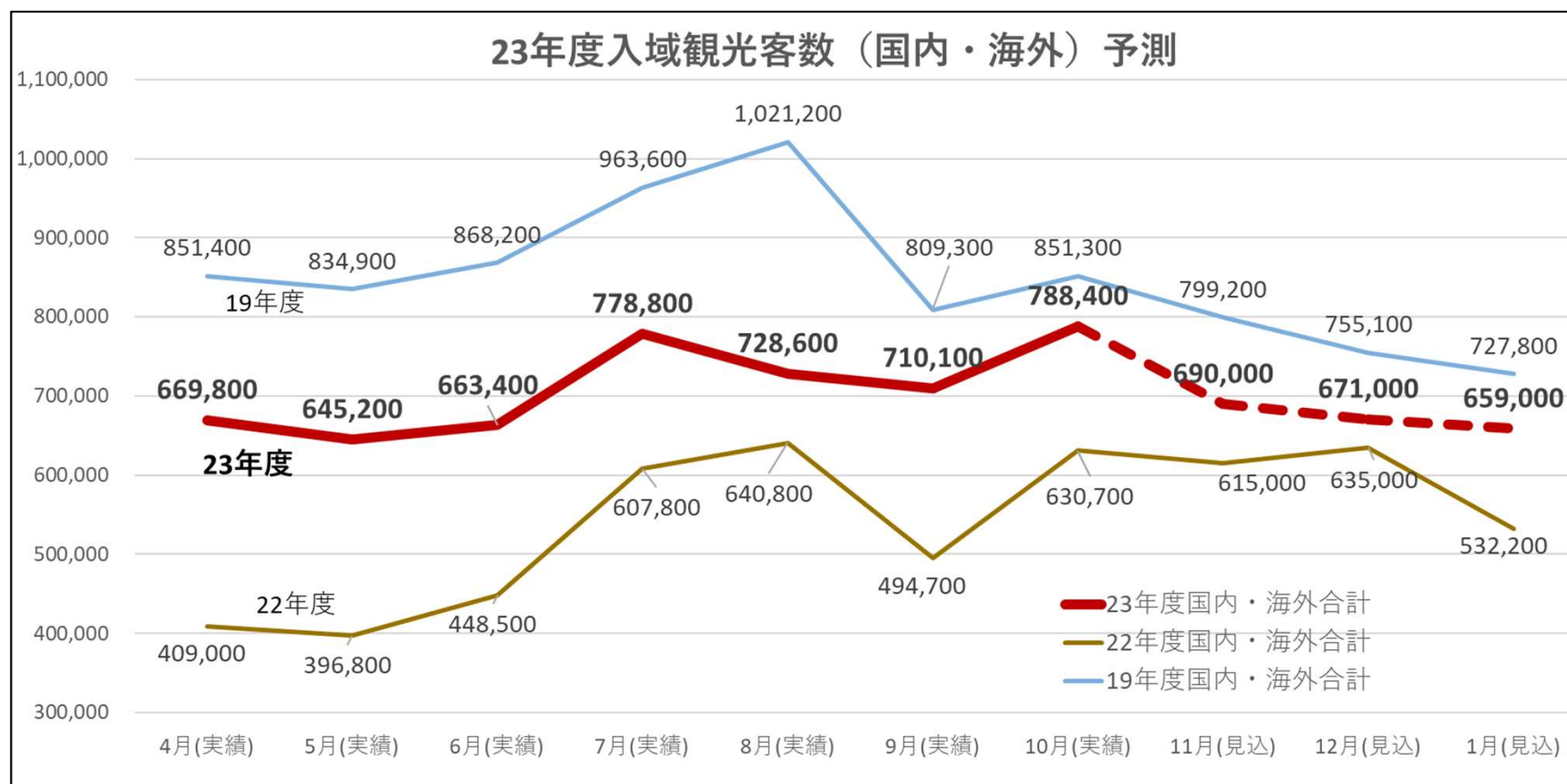


1. 入域観光客数概況(23年10月実績および11月～1月見通し)

	4月(実績)	5月(実績)	6月(実績)	7月(実績)	8月(実績)	9月(実績)	10月(実績)	11月(見込)	12月(見込)	1月(見込)	11-1月合計
23年度国内(空路)	601,700	564,200	577,300	654,900	628,700	599,700	667,600	600,000	580,000	540,000	1,720,000
23年度国内(海路)	1,400	11,100	8,400	8,700	3,500	3,800	5,300	2,000	4,000	3,000	9,000
23年度海外(空路)	60,200	63,300	68,100	80,300	71,600	79,600	79,000	76,000	83,000	98,000	257,000
23年度海外(海路)	6,500	6,600	9,600	34,900	24,800	27,000	36,500	12,000	4,000	18,000	34,000
23年度国内・海外合計	669,800	645,200	663,400	778,800	728,600	710,100	788,400	690,000	671,000	659,000	2,020,000
22年度対比(国内・海外)	163.8%	162.6%	147.9%	128.1%	113.7%	143.5%	125.0%	112.2%	105.7%	123.8%	113.3%
19年度対比(国内・海外)	78.7%	77.3%	76.4%	80.8%	71.3%	87.7%	92.6%	86.3%	88.9%	90.5%	88.5%

※海路については沖縄の各港で予定されているクルーズ船が全て寄港した場合を想定して算出



1. 入域観光客数概況(23年10月実績および11月～1月見通し)

(概況)

国内入域についてはNAHAマラソンなど各種イベントが通常開催されることや東京、大阪発の幹線や離島直行便の需要が高く、修学旅行も回復傾向であることから、旅行需要は引き続き好調に推移している。

海外入域については、空路は特に台北、韓国仁川、香港路線については予約が堅調に推移している。11月30日よりジェットスター社のシンガポール路線が運航再開(火・木・日曜の週3便)し、空路入域客数に関してはコロナ前の7割程度の水準まで回復する見込み。需要低迷により、中国国際航空が12月20日まで北京線の運休、および上海吉祥航空が12月31日まで上海線の運休を決定しており、中国本土路線の需要回復が課題となっている。

また、1月以降、チャイナエアラインが台北路線について期間限定(2024年1月1日～3月31日)で1往復から2往復に増便(火・木・土・日曜のみ)、および高雄路線についても同期間に運航再開(月・水・金曜のみ:1往復)する予定となっている。

海路は、11月以降も引き続き台湾や中国(上海・厦門・香港)などから入港が予定されているが、入域客数はコロナ前の2割弱の水準となる見通し。

なお、年間の入域観光客数の見通し(23年暦年)は先月発表時点から9,400人増えて、8,241,500人となる見通し。

(詳細)

・11月 :【国内】(空路)コロナ前19年度を超える 60万人(19年11月対比 100.7%)と見込む。特に宮古・石垣を含む東京・大阪発沖縄路線の需要が高い。また、修学旅行の受入についてもコロナ前19年度に近い水準まで回復している。

(海路)東京港2回、横浜港2回、大阪港1回の合計5回入港予定。入域客数は 0.2万人(19年11月対比 50.0%)となる見通し。

【海外】(空路)30日よりシンガポール路線(ジェットスター)が復便(週3便)する予定。入域客数は 7.6万人(19年11月対比 77.6%)となる見通し。

(海路)中国(厦門、香港)から6回入港予定。入域客数は 1.2万人(19年11月対比 11.9%)となる見通し。

・12月 :【国内】(空路)コロナ前とほぼ同水準の 58万人(19年12月対比 102.5%)と見込む。

(海路)横浜港から1回入港予定。入域客数は 0.4万人(19年12月対比 59.7%)となる見通し。

【海外】(空路)入域客数は 8.3万人(19年12月対比 79.0%)となる見通し。

(海路)厦門1回、香港1回の合計2回入港予定。入域客数は 0.4万人(19年12月対比 5.2%)となる見通し。

・1月 :【国内】(空路)コロナ前とほぼ同水準の 54万人(20年1月対比 101.5%)と見込む。

(海路)横浜港から1回入港予定。入域客数は 0.3万人(20年1月対比 136.4%)となる見通し。

【海外】(空路)入域客数は 9.8万人(20年1月対比 80.4%)となる見通し。

(海路)中国(上海、厦門、香港)より4回入港予定。入域客数は 1.8万人(20年1月対比 25.1%)となる見通し。

令和5年11月30日（木）

沖縄 MICE プロジェクト 2023 開催について

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下 OCVB）は、沖縄県から戦略的 MICE 誘致促進事業を受託しており、12/12（火）-15（金）の日程で沖縄県での MICE 開催誘致を目的に、沖縄 MICE プロジェクト 2023 を開催します。

このプロジェクトでは、国内外から MICE を企画するエージェントを招へいし、沖縄の最新 MICE コンテンツの視察、事業者との商談会・交流会を実施します。今年度は「発展と保全のチャンプルー～変わりゆく中で代わりないものを大切に」をテーマに、新施設活用、既存施設の再活用、地域との連携に着目した取組を行います。

今回、メディアの皆様には、タップホスピタリティラボ沖縄における海外商談会及びうるま市浜比嘉島地域交流拠点施設 HAMACHU で開催する交流会の取材をご案内いたします。

記

1. 開催日時及び会場：

令和5年12月13日（水）

13：00-16：40 海外商談会@タップホスピタリティラボ沖縄

18：55-20：30 交流会@うるま市浜比嘉島地域交流拠点施設 HAMACHU

2. 商談形式：バイヤー固定式：事前マッチング商談会

3. 招へいバイヤー：海外（韓国10名、台湾9名） 国内（関東・関西・名古屋）計20名

※ 詳細資料を別途添付

以上

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

海外・MICE 事業部 MICE 推進課

担当：比嘉茜、比嘉玲衣美、宮平松宗、奥平未来

TEL：098-859-6130

FAX：098-859-6221

Mail：mice@ocvb.or.jp

事業の目的

沖縄県でのMICE開催誘致促進に役立てる

POINT 01 今後沖縄県への誘致が期待できる MICE担当者
(旅行会社) を招聘
国内バイヤー/韓国バイヤー/台湾バイヤー

POINT 02 魅力あるMICEコンテンツ及び県内MICE事業者を
紹介し、積極的な商談を実施

沖縄MICEプロジェクト2023 「商談会・交流会」

開催地・うるま市について

うるま市には自然・歴史文化・芸能・食など多くの魅力ある観光コンテンツが点在しています。さらに今年4月には「感動産業特区宣言」を行い、行政だけでなく、市内事業者、市民を含めた地域全体で「感動を産業に」を合言葉にまちづくりを推進しています。「感動」はMICEの成功に欠かせない重大な要素。うるま市から感動のMICEプロジェクトをお届けします。



商談会 会場について

タップホスピタリティラボ沖縄 (T HALL・T COWORKING & T CAFFE)

沖縄県うるま市州崎 1 4 - 2 7 URL → <https://www.thl.jp/>

2023年6月に開設した、宿泊・観光産業に特化した世界初の実証実験施設。ホテルや観光施設とは一線を画した会場で、沖縄MICEを体感していただけます。



マッチング商談

商談時間 : 15分 / 1件
移動時間 : 5分

12/13

海外商談会

12:30 受付開始
13:00 主催者挨拶・事務局説明
13:15 事前マッチング商談スタート
...
全8商談 (休憩含む) 🔍
16:05 **内3~5商談 / 1セラー**
16:10 バイヤー固定式名刺交換会
16:40 商談会終了

交流会 会場について

うるま市浜比嘉島地域交流拠点施設 HAMACHŪ

沖縄県うるま市勝連浜19 URL→<https://hamachu-uruma.net/>



HAMACHŪ

2012年に閉校となった旧浜中学校の校舎を再活用し、
宿泊滞在型のワーケーション拠点施設として生まれ変わった施設です。

HAMACHŪ
= HAMA Champuru Hub in Uruma



星空観察

『浜比嘉島を舞台にお客様の夜の時間を演出』

星空観察で有名なスポットでもある浜比嘉島。市街地から離れているので街灯の影響を受けにくく、360°見渡す限り美しい星空を見ることができます。

今回は県内でも定評のある星のソムリエ®が水先案内人となり、星空で時間を忘れ感じてもらいます。

料理メニュー

スモークチーズ&無添加鶏ハム
うるま市麦翔さんのパンを使ったサンドイッチ2種 パンのミニDEガーリックラスク
地産地消 うるま市のお野菜 大葉ドレッシング
島豚ベーコン シーザーサラダ
志林川豆腐とフレッシュトマト、バジルのカプレーゼ
くがに卵と地元野菜のスパニッシュオムレツ ハモンセラーノ パルミジャーノ
うるま市もずく酢飯 Hawaiianミニアヒボキ丼
山城牛のピンチョス SUKIYAKIスタイル
島にんにくを使ったガーリックシュリンプ
沖縄そば スパム ネギ 沖縄かまぼこ 古謝ぐわー商店からの調味料
ピリ辛もずく冷麺 県産セイイカ 胡麻
沖縄タコス (タコスミート スパイシーチキン ベジタブルチリコンカン)

BBQコーナー

うるまの海豚 めちまーす焼きそば 島野菜

めちまーすコーナー

パケット オリーブオイル&セミドライトマト
くがに卵ポイルドエッグ
ゆし豆腐
枝豆
野菜のエチユベ

デザート

志林川豆腐のおからを使ったスコーン2種
うるま市産アップルバナナタルト
めちまーす 黄金イモのプリン

スケジュール

- ・17:30~18:00 駐車場~会場へ移動
- ・18:00~18:10 国内バイヤー紹介(司会より)
- ・18:10~18:55 星空観察&チームビルディング
- ・18:55~19:00 主催者挨拶・乾杯
- ・19:00~19:20 お食事・ご歓談
- ・19:20~19:30 バイヤー/セラーインタビュー
- ・19:30~19:35 MICE支援メニュー紹介Time
- ・19:35~20:00 ステージアトラクション
- ・20:00~20:25 ご歓談
- ・20:25~20:30 閉会の挨拶
- ・20:30~ 駐車場へ移動

アトラクション

現代版組踊「肝高の阿麻和利」ダイジェスト版

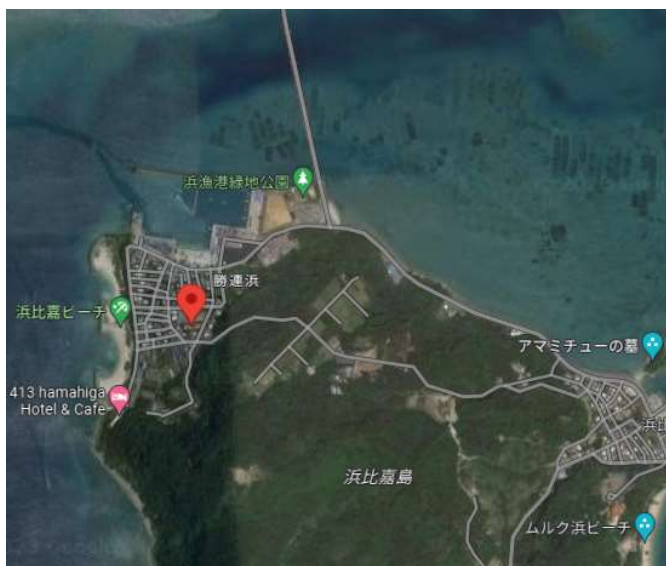
沖縄県うるま市の中高校生が出演している現代版組踊「肝高の阿麻和利」。2000年3月初演以来、公演回数333回を数え、観客動員は延べ19万人を達成！舞台だけでなく、子ども達の居場所づくりや人材育成、地域づくりの場として県内外から注目を浴びています。



今年現代版組踊「肝高の阿麻和利」は感動産業
特区アンバサダーとして認定されました。

駐車場

浜比嘉大橋渡つて、右側の公共駐車場
※変更の際は、事前にお伝えします。



令和5年11月30日（木）

「沖縄クルーズカンファレンス 2023」の開催について

県内の主要な港である那覇港、石垣港、平良港へのクルーズについて、2023年の見通しは149回となっており、2019年の555回と比較し回復率は26.8%、また、海外クルーズ客数にして2019年1月～9月で961,600人に対し2023年の同期間で122,500人となり、回復率は12.7%となっており、空路と比較して回復は緩やかな傾向にあります。

しかしながら、那覇発着のフライ&クルーズや小型ラグジュアリー船による小規模離島を周遊するエクスペディション船の運航も今後は予定されており、クルーズ船寄港による経済波及効果の向上や、環境に配慮した小型船による離島周遊クルーズの増加などによる「質の高いクルーズ観光の推進」に向けて着実な成果が出始めています。

この流れを更に推進することを目的に、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下OCVB）では、沖縄県から受託している戦略的クルーズ観光推進事業にて、「沖縄クルーズカンファレンス 2023」を開催します。

日本における国際クルーズの再開からこれまでを振り返り、現状や課題を整理するとともに、各社の取り組みや、成功事例、今後の展望等を共有することにより、沖縄・日本におけるクルーズ振興、地域活性化に向けた関係者における機運の醸成を図ります。

【概要】

名称：沖縄クルーズカンファレンス 2023
日時：2023年12月20日（水）10:00～19:30
場所：ホテル コレクティブ（沖縄県那覇市松尾2丁目5-7）
主催：沖縄県、OCVB
後援：内閣府沖縄総合事務局
対象者：クルーズ船社、港湾関係者、観光事業者、行政関係者等
定員：150名

【プログラム】

第1部：10:30～12:30

①基調講演

- ◆2023年日本発着クルーズの振り返りと那覇発着の新たな挑戦

株式会社MSCクルーズジャパン 代表取締役社長 オリビエロ・モレリ氏

- ◆2023年の沖縄エクスペディションの運航実績の報告とこれからの取り組み

ポナン 日本・韓国支社長 伊知地 亮 氏

- ◆商船三井クルーズの新たな展開

商船三井クルーズ株式会社 取締役 小出 文隆 氏

②パネルディスカッション

テーマ「国際クルーズの本格再開と日本のクルーズ振興に向けた提言」

〈ファシリテーター〉

大阪大学大学院 国際公共政策研究科長 教授 赤井 伸郎 氏

〈パネリスト〉

シルバーシー・クルーズ 日本・韓国支社 支社長 糸川 雄介 氏

株式会社ジャパネットサービスイノベーション シニアエキスパート 葦原 一隆 氏

株式会社ジャンボツアーズ 代表取締役社長 谷村 勝己 氏

OCVB 海外・MICE 事業部 部長 米谷 保彦 氏

第2部：14:00～17:00

①プレゼン&商談会

県内参加者（県内観光事業者・港湾関係者）によるプレゼンテーション

船社との商談会

第3部：17:30～19:30

①ネットワーキング

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

海外・MICE部 海外プロモーション課 担当：仲里・平山

TEL:098-859-6127 FAX:098-859-6221

Mail: cruise@ocvb.or.jp

OKINAWA CRUISE CONFERENCE 2023.12.20 WED

沖縄クルーズカンファレンス2023

日本における国際クルーズの再開からこれまでを振り返り、現状や課題を整理するとともに、各社の取り組みや、成功事例、今後の展望等を共有することにより、沖縄・日本におけるクルーズ振興、地域活性化に向けた関係者間で機運醸成します。

参加申込は
こちらから▽

(第1部・第2部 参加無料)

日時

令和5年12月20日(水) 10:00 受付開始

会場

ホテルコレクティブ 沖縄県那覇市松尾2丁目5-7
(国際通り)

参加者

クルーズ船社、港湾関係、観光事業者、行政関係者など

定員

150名

<https://forms.gle/1c5C2X5iN77ha7xV9>

※申込期限:12月8日(金)17:00



第1部

カンファレンス

ホテルコレクティブ(大宴会場) 10:30-12:30

※基調講演、パネルディスカッションの登壇者・
テーマは変更となる場合がございます。

1. 基調講演 10:30-11:40

(1) 「2023年日本発着クルーズの 振り返りと那覇発着の新たな挑戦」

株式会社MSCクルーズジャパン
代表取締役社長 オリビエロ・モレリ 氏

(2) 「2023年の沖縄エクスペディションの 運航実績の報告とこれからの取り組み」

ポナン日本・韓国支社 支社長 伊知地 亮 氏

(3) 「商船三井クルーズの新たな展開」

商船三井クルーズ株式会社 取締役 小出 文隆 氏

2. パネルディスカッション 11:40-12:30

テーマ「国際クルーズの本格再開と 日本のクルーズ振興に向けた提言」

ファシリテーター

大阪大学大学院 国際公共政策研究科長 教授 赤井 伸郎 氏

パネリスト

シルバークルーズ 日本・韓国支社 支社長 糸川 雄介 氏

株式会社ジャパネットサービスイノベーション シニアエキスパート 蓑原 一隆 氏

株式会社ジャンボツアーズ 代表取締役社長 谷村 勝己 氏

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 海外・MICE事業部 部長 米谷 保彦 氏

第2部

プレゼン&商談会

参加者(県内観光事業者・港湾関係者)による
プレゼンテーション、船社・旅行代理店との
商談会

14:00-17:00

ホテルコレクティブ(中宴会場)

第3部

ネットワーキング(名刺交換会)

17:30-19:30

※会費制(詳細は追ってご案内します)

主催

沖縄県

OCVB

後援



沖縄総合事務局

お問い合わせ先

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
TEL/098-859-6127 担当者/仲里・平山

令和5年11月30日（木）

「沖縄修学旅行相談会 in 大阪」を開催いたします

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下 OCVB）は、沖縄県より「令和5年度教育旅行推進強化事業」を受託しており、県外からの修学旅行の安定的確保と受入体制整備を目的に、修学旅行プロモーション事業を行っております。

コロナ禍を経て、本県への修学旅行入込数も回復傾向にありますが、この3年ほどは修学旅行を中止または近隣地域へ方面変更して実施した学校が多く、沖縄修学旅行に関する情報が少ない学校関係者・旅行会社が多いことから、直接現地の情報を聞くことができる相談会を開催しております。今年度は8月に東京、11月に愛知での開催を行ってまいりましたが、来る12月に大阪でも開催いたします。

本県への修学旅行の入込数上位を占める関西エリアにて、修学旅行向けプログラムや沖縄県の支援情報などを発信いたします。当日は沖縄県内事業者21団体が出展し、昨今教育現場でも関心が高まっている探究学習やSDGs関連プログラム等を中心にご紹介します。

また、10月～12月に実施時期が集中し、受入体制が課題となっていることから、閑散期（1～2月）の実施メリットを発信し、実施時期見直しの提案をいれながら、沖縄修学旅行の魅力を発信し、学習効果や受入環境等の情報を得る機会とすることで本県への誘致を行ってまいります。

- 催事名：令和5年度 沖縄修学旅行相談会 in 大阪
- 日時：令和5年12月25日（月）午前の部 10:00～13:00 / 午後の部 15:00～18:00
- 場所：コングレコンベンションセンター ルーム2～3
（大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 北館 B2F）
- 対象者：学校関係者、旅行会社等
- 主催：沖縄県、OCVB
- 出展者：県内21団体（添付参照）
- 来場者数：80名程度（想定）

<東京開催の様子>



<愛知開催の様子>



<参考：2023年度（令和5年4月～令和6年3月）の修学旅行見込入込数>

※11月7日時点、旅行社15社中8社からの回答により推計（OCVB調査）

※2018年度および2022年度修学旅行入込実績（沖縄県観光政策課発表）、2023年度OCVB調査による入込見込み数を掲載

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	校数	218	429	217	27	1	67	382	389	386	122	104	86	2,428
	人数	26,033	54,779	34,575	3,253	37	11,698	80,400	85,195	71,947	24,641	15,738	15,185	423,481
2022年度	校数	66	97	101	25	1	40	292	324	272	86	86	92	1,482
	人数	9,166	13,731	14,697	3,580	9	7,179	55,182	65,892	49,178	14,952	15,301	15,264	264,131
2023年度	校数	113	284	161	22	4	40	314	362	273	80	90	63	1,806
	人数	14,750	37,288	26,245	2,797	165	6,802	64,891	79,881	50,816	14,470	16,650	11,675	326,430

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 受入推進課

担当：西表/多和田/屋宜

TEL：098-859-6129

FAX：098-859-6221

Mail：shuryo@ocvb.or.jp

令和5年度

in大阪

沖縄修学旅行 相談会

※開催 30 分前より開場

日時  令和 5 年 12 月 25 日(月)  午前 10:00~13:00
 午後 15:00~18:00

会場  コングレコンベンションセンター ルーム 2-3
住所：大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 北館 B2F

対象  学校関係者、旅行会社など



～沖縄で体験する SDGs・探究学習～

沖縄から修学旅行の関連事業者多数集結！



個別
相談会

参加費
無料

入退場
自由

予定内容

- ・主催者プレゼンテーション
- ・沖縄修学旅行実施校によるプレゼンテーション
- ・沖縄県内修学旅行受入事業者によるミニプレゼンテーション
- ・沖縄県内修学旅行受入事業者との個別相談会

出展者など
詳細については
こちらから  
ご確認ください。



交通費助成

学校関係者の方を対象に
会場までの交通費を一部
助成いたします。
(上限あり)

■ 後援：公益財団法人全国修学旅行研究協会、公益財団法人日本修学旅行協会



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

令和5年度

沖縄修学旅行 相談会

in大阪

日時 令和 **5** 年 **12** 月 **25** 日(月) 午前 10:00~13:00 ※開催 30 分前より開場
午後 15:00~18:00

会場 **コングレコンベンションセンター ルーム 2-3**
 住所：大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 北館 B2F

対象 学校関係者、旅行会社など

【出展企業一覧】

■ 北部エリア ■ 中部エリア ■ 南部エリア ■ 離島エリア ■ 広域

やんばるエコツーリズム 研究所	15	有限会社 リゾートエンタープライズ沖縄	4	一般社団法人 金武町観光協会	4	一般社団法人 嘉手納町観光協会	16
御菓子御殿	12	NPO 法人自然体験学校	4	公益財団法人 国立劇場おきなわ運営財団	4	一般社団法人 伊平屋島観光協会	11
ぶしいぬしま石垣店	14	一般社団法人 渡嘉敷村観光協会	14	八重山教育旅行誘致委員会	4	一般社団法人 伊江島観光協会	12
株式会社シー・テクニコ	14	星野リゾート 西表島ホテル	4	HelloWorld 株式会社	4	NO MARK 株式会社	4
株式会社まるとまるっと	16						

（グループ出展企業）

名護市修学旅行誘致委員会	14	海ぶどう農園 ～海ん道～ uminchi ～	12	MRO Japan 機体整備工場見学ツアー	4	糸満市で学ぶ SDG's 探究学習	12
--------------	----	---------------------------	----	--------------------------	---	----------------------	----

CATEGORY

観光協会 宿泊施設 自然体験 見学・学習 食事 民泊 その他

SDGs 17の目標

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1 貧困をなくそう | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 2 飢餓をゼロに | 11 住み続けられるまちづくりを |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 12 つくる責任、つかう責任 |
| 4 質の高い教育をみんなに | 13 気候変動に具体的な対策を |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 14 海の豊かさを守ろう |
| 6 安全な水とトイレを世界中に | 15 陸の豊かさを守ろう |
| 7 エネルギーをみんなに。そしてクリーンに | 16 平和と公正をすべての人に |
| 8 働きがいも経済成長も | 17 パートナーシップで目標を達成しよう |
| 9 産業と技術革新の基盤を作ろう | |



お申し込みは左記 QR コード（申込みフォーム）または、FAX よりお願いします。

▼ FAX: 098-864-1772

学校／会社名（支店名）			
参加者代表氏名			
参加希望時間帯	午前の部 / 午後の部	予定参加者数	名
ご連絡先			
E-mail アドレス			

令和5年11月30日(木)

世界自然遺産「奄美・沖縄」WEBサイトがリニューアル！ 抽選で特産品が当たるクイズキャンペーン実施中 ～「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の魅力をお届け～

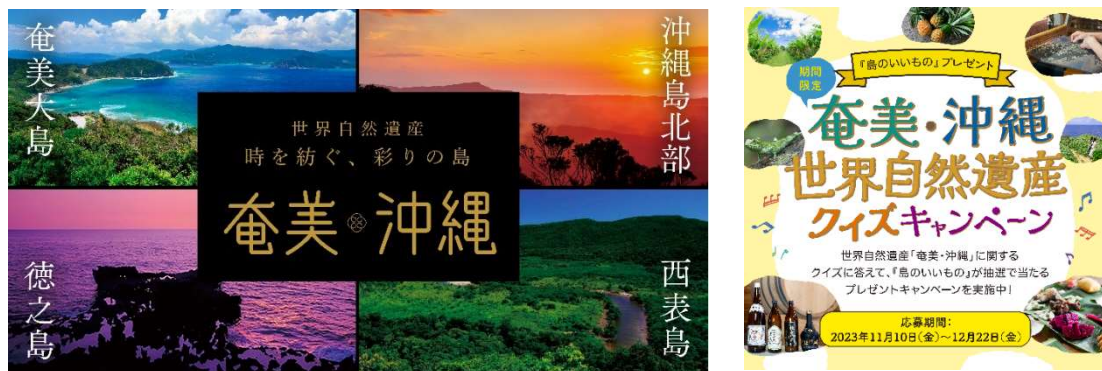
一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー(会長:下地芳郎、以下OCVB)は、沖縄県より受託している奄美・沖縄観光交流連携事業において、鹿児島県・観光かごしま大キャンペーン推進協議会(事務局:公益社団法人鹿児島県観光連盟)と共同で、世界自然遺産「奄美・沖縄」のプロモーションを実施しています。

この度、WEBサイトをリニューアルし、11月10日(金)から抽選で特産品が当たるクイズキャンペーンを開催しておりますので、お知らせいたします。

- 変更前:登録地域の自然景観、地形や生息する希少な動植物、独自の生態系を次世代へ受け継ぎ更なる魅力発信を中心とした掲載。
- 変更後:自然のみならず地域の魅力を身近に感じて頂けるよう「食」「体験」「文化」に関する取材を実施し新たな記事を作成。訪れる際に守ってほしいルールやマナーの啓発や周知、認定ガイドの利用促進を図るべく「認定ガイドツアー」の記事を紹介。

(クイズ)

抽選で30名様に奄美・沖縄の特産品や関連グッズが当たる「奄美・沖縄 世界自然遺産クイズキャンペーン」を実施(2023年12月22日(金)迄)



「世界自然遺産 奄美・沖縄」WEBサイト <https://amamiokinawa.jp/>

鹿児島県及び沖縄県に跨る「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」は、貴重な生物多様性が評価され、2021年に日本で5番目となる世界自然遺産に登録されました。

【お問い合わせ先】

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー
国内事業部 国内プロモーション課
担当: 新屋敷、賀数、幸地
TEL: 098-859-6125 FAX: 098-859-6221
E-mail: kokunai_rosen@ocvb.or.jp



岩場やむき出しの赤土など自然の形状が生かされているゲータの滝へ向かうコースを、認定ガイドの清水さんを先頭に進んでいきます。道中、通過した生き物については清水さんによる丁寧なガイドが行われるため、亜熱帯の動植物について楽しく学ぶことができます。



▲認定ガイド

認定ガイドがツアーで教えてくれるポイントについて掲示（西表島ガイド UMICO 『ジャングルトレッキング半日コース』より抜粋）



ツアーのポイント

ツアーの前に入林にあたっての心得や岩場の歩き方、注意事項をお話しますので、ルールを守って楽しんでください。ジャングル内は携帯電話の電波がつかないため、もし怪我をした場合、救助に時間がかかってしまいます。スタート前でつい気分が高まってしまいますが、自分の身を守るため、不慮の事故を防ぐためにも大切なことです！

愛情をかけて共に過ごす364日こそ特別なもの

闘牛と書いてバットと讀み誤りやすいのは、角と体がふつかり合い種族を決めるエキサイティングな場面のイメージですが、「大会が開催される365分の1日のために、共にトレーニングを積みながら、日々愛情をたっぷり注ぎ、丁寧に育てていく—そんな364日の日常こそ、闘牛という素晴らしい文化が根付いている」と、ガイドの藤本孝太さんは語ってくれます。日々の暮らしのなかで家族同然の牛にかける思い、世話をしながら道所の人間士で執務している風景、近所の高校生が朝の5時から牛舎に手伝いにくる毎日、牛を中心に徳之島の人々の心が結びつき、熱を帯びていく闘牛こそが「牛なくさみ」なのかもしれません。



島の北東部に位置する花畑農場は、地域で闘牛文化が深く根付いています。その子牛ともちも牛の命がけが好きで多く、休みの日には小豆に遊びに行くのが日常です。



▲ カテゴリ「体験」

（徳之島・闘牛おさんぽツアー）

自然が生む、おおらかな偶然性を愉しむ

この染色技法を教えてくれるのは、徳島県に工房「金井工芸」を構える染色人・金井夫人さん。専業として大染桶の染料（糊）を定めた手順を指し示しながら、作業としても国内で活躍しています。金井さん曰く、「染液は他の草木染めと比べて、いろいろな色が生まれる『寄り焼』がある技法」。黄色・赤を基調の、染料の濃度をブレンドしていく手仕事から生まれる染物は、自然の偶然性が生み出す美しいムラと柔らかな風合いが特徴です。



染色体験をするために必要なものは、染料を糊で一定濃度まで練り込んで、手洗いで体験できます。



▲ カテゴリ「文化」

（奄美大島・泥染め）

令和5年度 観光人材育成・確保促進事業

沖縄県 富裕層向け ガイド育成セミナー及び モニターツアー募集中

沖縄県の観光政策においても「量から質」への転換が求められており、今後のインバウンドの本格的な回復を見据え、特に富裕層に対応できる質の高いガイド育成に中長期的に取り組む必要があることから、ラグジュアリートラベルの実績のある講師を招き、座学や実地研修を実施いたします。

座学
(ガイド育成セミナー)
12/19
[火曜日]

モニターツアー
(ガイド限定、別途申請)
12/20
[水曜日]
定員10名

座学／富裕層向けガイド育成セミナー

開催日 令和5年 **12/19** [火曜日]

時間 午前10時～午後2時30分

場所 沖縄コンベンションセンター 会議棟A2
〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜 4-3-1

対象者 登録通訳案内士、フリーガイド、旅行会社、地域観光協会

申込締切 令和5年12月18日(月)
※モニターツアー参加希望者は12月10日(日)が締め切りとなります。

座学研修内容（講師）

第1講

富裕層旅行市場の基本知識
及び富裕層向けDMCと
ガイドの信頼関係の構築

講師 沼能 功氏

リージェンシー・グループ株式会社 会長兼CEO



第2講

ホテルコンシェルジュと
通訳案内士の信頼関係の構築

講師 住吉 真矢子氏

パレスホテル東京 チーフコンシェルジュ(レ・クレドール SEO
(東南アジア・オセアニア地域)ゾーンディレクター)



第3講

富裕層向け世界遺産及び
自然ガイドの心得

講師 篠田 宇希氏

世界遺産ハンター、メキシコとスイスの
世界遺産ガイドを歴任



参加
無料

※ 集合、解散後の移動費は別途自己負担となります。
※ モニターツアーの参加者は1日目の意見交換会時の食事代及び2日目の昼食代は自己負担となります。予めご了承ください。

お申し込みはこちらから
<https://onl.bz/e3aRv2N>



お問い合わせ先

「令和5年度 観光人材育成・確保促進事業 沖縄県富裕層向けガイド育成セミナー」事務局
(一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー国内事業部受入推進課 観光人材育成センター内)
〒901-0152 沖縄県那覇市宇字小禄1831-1 沖縄産業支援センター2階
TEL:(098)859-6129 FAX:(098)859-6221 Email:ikusei@ocvb.or.jp 担当 田野、瑞慶山

モニターツアー応募条件・選考方法

以下の応募要件を満たす方から10名程度募集（10名を超える場合は選考となります）

- 沖縄県内在住者
- 外国語が話せる方
- 通訳ガイドの実務経験を有する方
- 本事業への参加後に、富裕層旅行者のガイド業務を積極的に行う意欲のある方
- 全日程に参加が可能である方

モニターツアー募集・選定スケジュール（予定）

募集期間 2023年11月10日(金)～2023年12月10日(日)

選定結果通知 2023年12月14日(木)

研修期間 2023年12月19日(火)・20日(水)の2日間 ※詳細は以下参照

モニターツアー参加者の服装について

- ① 森林に入る研修を予定していますので、持ち物と服装は以下をご参考してください。
※歩きやすく、脱ぎ履きしやすい靴 ※長袖、長ズボン、長靴下(虫刺され防止のため) ※虫除けスプレー
- ② サバニ体験があるため、濡れても大丈夫な服装、靴を用意してください。(マリンシューズ推奨)

参加スケジュール

研修日	時間	研修内容
12月19日 (火曜日)	14:30～16:00	移動、視察の説明
	16:00～17:00	視察①中山コーヒー園
	17:00～17:30	移動
	18:00～20:00	意見交換会
※名護市で宿泊（一泊）		
12月20日 (水曜日)	8:00～9:00	移動
	9:00～10:00	視察②南溟森室 (シェルパによる集落案内)
	10:00～11:00	視察③南溟森室 (宿のコンセプトや地域と連携した活動及び意見交換)
	11:00～11:30	移動
	11:30～12:30	視察④大宜味スカイテラスレストラン
	12:30～13:00	移動
	13:00～14:00	視察⑤Treeful Treehouse
	14:00～14:30	移動
	14:30～16:00	視察⑥ヘントナサバニ (サバニ乗船体験含む)
	16:00～16:30	意見交換会
16:30～	沖縄コンベンションセンターにて解散	

※研修内容・時間・実施方法は一部調整中のため、変更になる可能性があります。

モニターツアー参加に関する留意事項

- モニターツアー内容・時間・実施方法は一部調整中のため、変更になる可能性があります。
- モニターツアー中は事務局や講師の指導監督に従ってください。
- やむを得ない事情によって研修受講継続が困難になった場合は、直ちにその理由を事務局まで連絡してください。
- 受講生が次のいずれかに該当する場合、事務局内で協議の上研修受講の中止又は中断を決定します。
ア 申請書（申込フォーム）記載内容に虚偽の記載があった場合。
イ 事務局と連絡が1週間以上取れない、研修受講中の素行に問題があった場合等、事務局が研修の継続を困難と判断した場合。
- 天災等のやむを得ない状況の場合、モニターツアーは中止又は延期になる場合があります。
- モニターツアー中は写真撮影を行う可能性があります。撮影した写真は広報のため、沖縄観光コンベンションビューローのWEBサイト等で公開する可能性があります。
- セミナー、モニターツアーに参加にあたっての個人情報の取扱いについては募集要項をご確認ください。